

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		県西地域都市間における被災地域等応援事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060305000968
						単独/補助	単独	所属課	010101 秘書広報課
政策体系	総合計画の施策名	0603 時代に合った自治体運営						課長名	
	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり						グループ	秘書広報グループ
	施策名	03 時代に合った自治体運営						担当者名	
	手段名	05 ⑥広域連携の推進							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	04	03	00	被災地域等応援事業		
法令根拠	茨城県西都市間における災害時相互応援に関する協定								
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	<p>近年、災害が広域化、大規模化しており、また、原子力発電所の事故等が発生した場合を想定し、地域での協力体制をより強固にすることを目的として、平成25年2月19日に茨城県西都市間における災害時相互応援協定を締結した。</p> <p>平成27年9月9日から11日にかけて発生した関東・東北豪雨の際には、特に甚大な被害を被った常総市を支援するため、茨城県西都市間における災害時相互応援協定に基づき物資の支援及び職員による人的応援を実施した。</p>					<p>被災した自治体に対し、県西都市間における災害時相互応援協定に基づき、物的支援および人的支援を実施する。</p> <p>平成27年の関東・東北豪雨の際には、災害を受けた常総市に備蓄品や食料などの支援物資、職員派遣の手配を行った。物資の支援は9月11日、14日、15日に実施。職員の派遣は9月13日～10月31日まで実施し、延べ116人を派遣した。</p> <p>※例年5月に相互協定による事務担当者会議を開催している。令和4年度は5月20日に結城市にて事務担当者会議を開催 (コロナ禍により令和2年度、3年度は中止)。</p>				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)			単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
支援物資・派遣職員の手配 相互協定による会議の開催		支援要請回数			回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		相互協定による会議の開催			回	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
茨城県西都市間における災害時相互応援に関する協定の締結市町村		県西都市間における災害時相互応援協定の締結市町			市町	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)			単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
被災者への支援と被災地の復旧を支援する		派遣職員数			人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)				05年度事業費 予算 (千円)			
	合計				合計			
	0				0			

(4) 当該年度の実施内容		05年度の事業内容		06年度の事業内容		07年度の事業内容	
※年度ごとに事業内容を記入する		被災した自治体に対し、県西都市間における災害時相互応援協定に基づき、物的支援および人的支援を実施する。事務担当者会議への出席。		被災した自治体に対し、県西都市間における災害時相互応援協定に基づき、物的支援および人的支援を実施する。事務担当者会議への出席。		被災した自治体に対し、県西都市間における災害時相互応援協定に基づき、物的支援および人的支援を実施する。事務担当者会議への出席。	

事務事業名	県西地域都市間における被災地域等応援事業	事務事業No.	60305000968	所属課	秘書広報課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
広域化、大規模化している災害に対応するとともに、原子力発電所の事故等が発生した場合を想定し、地域間の協力体制を強固にするため、平成25年2月19日に茨城県県西都市間における災害時相互応援協定を締結した。 平成27年9月9日から11日にかけて発生した関東・東北豪雨の際には、茨城県県西都市間における災害時相互応援協定に基づき特に甚大な被害を受けた常総市を支援するため、物資の支援及び職員による人的応援を実施した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
平成27年の関東・東北豪雨の際には、協定から2年半が経過し、市と町が一緒の協定であり、災害時の緊急を要する中、事務局の所在等の明確な認識がとれていなかった。そのため、協定の初動における各市町村の窓口の明確化や事務局の所在地、県市長会との調整、被災をしている状況で他市町村への支援など課題が残ったため、毎年1回会議を行って担当職員等の確認を実施している。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 災害時防災協定に基づく事業なので政策体系に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 民間の支援はもちろんのこと、市が率先的に応援しなければならない。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 被災地が混乱しているなか、必要な支援を有効に行い、連絡体制の確立を図るため、連絡調整会議を密にすることになった。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止した場合、協定地域間での相互協力がとりにくくなり、支援等に支障がでる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 県西市長会をもとにした災害応援体制の確立なので、統廃合はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 災害の規模により、被災地への支援内容が大きく異なるため、事業費及び延べ業務時間を削減するのは難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 災害による応援であるので公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	令和4年度は大規模災害等がなく、被災地域等への支援の実施は行わなかった。例年5月に開催している事務担当者会議もコロナ禍により令和2年度、3年度は開催中止となったが今年度は3年ぶりに開催された。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 ➔ <input type="checkbox"/> 改革改善を行う ➔ ■ 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持			○	×	低下		×	×	×
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持			○	×																						
低下		×	×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>